

【参考資料】

平成30年度「福井しあわせ元気大会2018」応募状況

区分	身体						知的					
	派遣者数			応募者数			派遣者数			応募者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
陸上	15	3	18	24	12	36	8	5	13	55	19	74
水泳	2	2	4	7	5	12	3	1	4	26	8	34
アーチェリー	1	0	1	1	0	1	/			/		
卓球	3	1	4	10	3	13	2	2	4	10	4	14
STT	1	0	1	4	1	6	/			/		
フライングディスク	3	1	4	3	1	4	5	3	8	162	37	199
ボウリング	/			/			4	1	5	8	3	11
合計	25	7	32	49	22	58	22	12	34	261	71	332

※1：傾向として、身体障害及び知的障害の女子の応募者が少ないです。

※2：競技別に見ると、陸上（身体男子・女子）、水泳（身体男子・女子、知的女子）卓球（身体男子・女子、知的女子）、サウンドテーブルテニス
フライングディスク（身体）、ボウリング（男子・女子）の応募者が少ないです。

【選手選考基準】・・・ ①は絶対条件。②の基準から順に優先して選考します。

- ①当該大会の事務局が示した各競技の出場可能枠に収まるように選考します。
（各競技に身体障害者出場可能枠、知的障害者出場可能枠が示されます。）
- ②出場経験のない方を優先に選考します。過去5年以上経過の方も同様の取扱
（応募者が①の枠に満たない場合、再出場者も選考の対象とします。）
- ③各競技においてもできる限り種目を分散して参加できるように選考します。
- ④できる限り障害区分、年齢区分を分散して参加できるように選考します。
- ⑤複数の参加希望者がいる種目は、選考会の記録を参考に選考します。

※上記基準で選考困難な場合、選手選考委員会で審議のうえ、抽選等により参加選手を決定します。

※大会事務局から新たな出場の基準等が示された場合、選考基準を変更します。

<例えば、フライングディスクの参加を希望する選手が①の基準内に収まらない場合>

最初に②の基準により初出場者と既出場者に分けます。次に③の基準により競技種目別（アキュラシー5、7、ディスタンス）に分け、④の基準により知的障害選手を3区分、身体障害選手を2区分に分けます。（フライングディスクの実施上、障害区分、年齢区分の区分けはありませんが、選手選考するために区分けします。）

そのうえで⑤の基準により選考会の成績上位者から順に選考しますが、それでも出場者を絞りきれない場合は、選考委員会で決定した選考方法（例えば抽選による）で選考します。

- ・成績上位者でも選考の結果選外となることがあります。
- ・フライングディスクに限らず、他の競技においても同基準により選考します。